

(履-3) 自学自習の記入の必要がない科目：履修・本科学修及び専攻科の実験実習（授業内容部分に罫線なし）

科目名	工作実習	英語科目名	Manufacturing practice		
開講年度・学期	平成 26 年度・通年	対象学科・専攻・学年	本科 1 年		
授業形態	実習	必修 or 選択	必修		
単位数	3 単位	単位種類	履修単位		
担当教員	川村壮司	居室（もしくは所属）	機械工学科棟 2 階		
電話	内線 201	E-mail	t-kawamura@oyama-ct.ac.jp		
授業の到達目標	授業到達目標との対応				
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準要件		
1. 工作機械の基礎的な操作ができること.	②				
2. 工作実習に関する基礎の理解ができること.	②				
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法					
課題および提出レポートの内容を設定水準で評価する.					
評価方法					
各実習内容についての課題とレポートの内容を評価して 60%以上を合格とする.					
授業内容					
班編成のもと、1テーマを5週で完了して年間5テーマの内容を行う。班ごとの担当指導員により実施.					
1. 鍛造作業（基礎、スコヤの製作）（5週）					
2. エンジン分解・組立作業（ガソリンエンジンの分解・組立）（5週） 工具の扱い方、分解・組立作業					
3. 旋盤作業（基礎、段付き軸の製作）（5週）					
4. 仕上げ作業（基礎、アングルピースの仕上げ）（5週）					
5. 計測および工作基礎（基礎、板金作業）（4週）					
キーワード					
参考書					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目					
現学年の関連科目	機械工学基礎				
次年度以降の関連科目	工作実習、機械工作法				
連絡事項					
1. 各テーマ5週ごとにレポートを提出すること.					
2. 実習は実技を重んじるため、病気、事故等以外に休まないこと. (休む場合には、予めその理由を担当教員に連絡すること.)					
3. 定期試験は実施しない.					
4. 機械系科目の全分野に関わる重要な実習科目である.					
シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 28 日				